

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.98

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年4月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject

笠山山頂展望台

鳶ノ巣
カフェ

4/29 OPEN

外観



内観



令和5年度から笠山山頂展望台は、愛称「鳶ノ巣（とびのす）」として、萩ジオパーク推進協議会が一体的な運営をすることとなりました。ゴールデンウィークにあわせて、4月29日から2階カフェがオープンしました。愛称である「鳶ノ巣」は、笠山上空を舞う鳶のように人の暮らしを「まわりの景色」と合わせて見てほしいとの思いなどから名付けました。飲み物を飲みながら鳶の目線で心行くまでご堪能ください。皆さまのお越しをお待ちしております。

メニュー



メニュー： ※いずれも税込み価格

- ・ホットコーヒー、紅茶 各200円
- ・アイスコーヒー、紅茶 各250円
- ・ホット夏みかんティー 300円
- ・夏みかんティー 500円
- ・萩の夏みかんジュース、サイダー 各250円
- ・阿東のりんごジュース、サイダー 各250円
- ・バスク風チーズケーキ（兀兀レシピ） 500円

休館日：月曜日、年末年始

営業時間：3～11月は10時～16時 / 12～2月は10時～15時

※ラストオーダーは各30分前まで

新年度スタート！

令和5年度がスタートしました。今年度の事務局体制は、協議会設立当初から庶務会計をしていただいていた埴山桂子さんが萩市健康増進課に異動し、伊藤事務局長、中村事務局長補佐、白井専門員、小野事務局員の4名ということになりました。行き届かないこともあるかと思いますが、何卒よろしくお願いします。

／ 埴山さん、お疲れ様でした ／

とうとう来てしまった！ジオパークを離れる日

ジオパーク推進室にはじまり、今年3月までジオパーク推進課で8年間事務局員として仕事をしてきました。

私にとって「ジオパーク」って何？、そこから始まりました。

最初にした仕事が、ジオパークに認定されている地域がホームページでどのように情報発信しているか、見せ方などをまとめることでした。今まで観てきたことが、ただ「絶景！」「きれい！」だけではないことに気付かされました。それが私のジオパークの一步でした。

これからは市民として、行事に参加し、ときどき学び、ジオパークを楽しみたいと思います。

長い間お世話になりありがとうございました。

埴山 桂子

さて今年度萩ジオパークは認定5周年を迎えます。皆様と一緒に大地と人のつながりを体感できる活動に取り組んでまいります。

弥富・畳ヶ淵にトイレができました



▲ 地域の方が手作りした杖
◀ 完成したトイレ

「龍が通った道」の見どころの一つ、畳ヶ淵の駐車場に水洗の公衆トイレができました。男女2室の多目的トイレで4月1日から供用開始されています。排水はそのまま流す形ではなく空気中に蒸発させる無放流式という笠山山頂展望台のトイレでも用いた方式で、周囲の環境に配慮したものとなっています。念願が叶い、受入体制がまた一つ整ったということで、地域の方が企画して、4月1日・2日には「そば処龍の里 弥富」において、先着50名様にお祝いの品を配られました。

お客様対応としては、畳ヶ淵駐車場から六角形の石畳の河床までの高低差40mは少し滑りやすいスロープと階段となっていますが、解説看板横の降り口に地域の方が杖を用意しておられます。中には竹を切り出して作ったものも。新緑とせせらぎを楽しみむことができる畳ヶ淵に足を運んでみてはいかがでしょうか。

福栄の山野草祭におじゃましました

4月22日（土）に大板山たたら製鉄遺跡で「春の山野草祭」が開催（主催：福栄文化遺産活用保存会）され、講師の一人として白井専門員が参加しました。樹木医の草野隆司氏の案内による山野草のガイドツアーから始まり、世界遺産である大板山たたら製鉄遺跡の案内、そしてお昼ご飯は地元の皆さんが腕によりをかけた山野草の天ぷらや山菜おこわ、草餅などが振舞われる、豪華で贅沢な内容でした。

白井専門員の出番は最後。どうしてここでたたら製鉄が行われたのか、そしてどうして福栄では美味しい農産物がたくさんあるのか、大地の特徴からひも解くお話をしました。地形図を眺めて鳥の目線で地域を見てみたり、火山実験で大地の成り立ちを再現してみたり、参加者の方々それぞれに手を動かしていただきました。

このイベントはこれが第1回目だそうです。これから長く続く定番行事になるといいですね。



令和5年度 萩市ジオパーク活動補助金のお知らせ

萩市は、地域の発展を目指しつつ、大地の遺産を守り、学び、生かすための主体的で特徴のあるジオパーク活動を行う市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織に対し、萩市ジオパーク活動補助金（上限25万円）を交付します。補助対象期間は交付決定日から令和6年3月15日（金）までで、募集期間は5月19日（金）までとなっています。

多くの皆さんがジオパークを通じた様々な活動を展開されることを期待しています。補助対象事業や、補助対象経費など募集に関する詳しい情報や申請書類等のダウンロードは萩市公式ホームページへアクセスしてください。



令和4年度 ジオパーク活動補助金交付団体の活動報告

昨年度の補助金交付団体は萩ジオツーリズム協会、竹森れい、萩市立須佐中学校の3団体でした。

事業名と交付額は次のとおりです。

① 萩ジオツーリズム協会

事業名：体験型ツアーの開発

～セルフ野点を通して大地と人のつながりに触れよう～

交付額：194,000円

② 竹森れい

事業名：笠山ボルケーノピクニック（第2回）

交付額：190,000円

③ 萩市立須佐中学校

事業名：ふるさと発信プロジェクト

交付額：100,000円



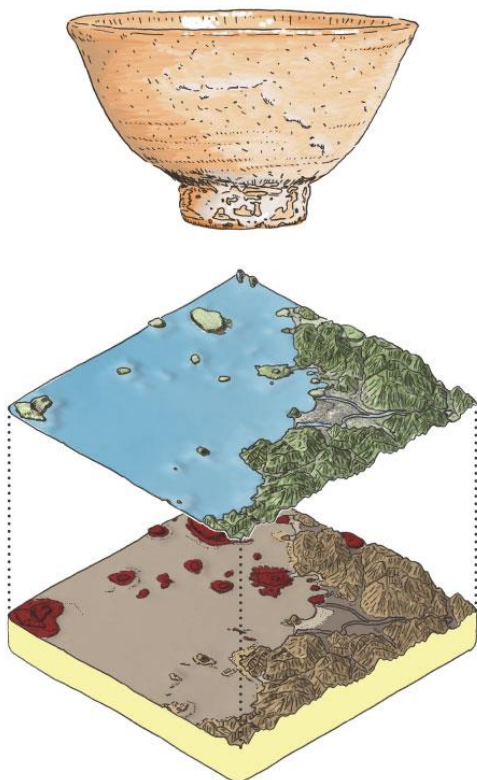
萩ジオパーク特別展示「萩焼が生まれる大地」を開催します

第30回萩焼まつりが5月1日（月）～5日（金）の日程で開催されます。それに合わせ、会場の一つである萩・明倫学舎で、“萩焼と大地のつながり”を紹介する特別展示（入場無料）を開催します。

萩ジオパーク特別展示

萩焼が 生まれる大地

景色から読み解く萩焼誕生のヒミツ



菊ヶ浜や田床山山頂からの見慣れた萩の美しい景色が、実は萩焼の誕生と深く関係しています。萩焼の材料を生み出し、萩焼が作られるきっかけとなった歴史の背景も支える、萩ならではの大地の特徴を解説します。他の場所ではなく、萩だからこそ、の理由をきくと分かっていただけるはずです。

1億年にもわたる地球と人の営みが関係する奇跡のような物語とともに、萩焼を楽しんでいただくのはいかがでしょうか。お祭り参加のついでに、お気軽にお立ち寄りください。

【開催期間】

5月1日(月)～14日(日)

10時～17時

【会場】

萩・明倫学舎3号館2階・
萩市民ギャラリー大展示室

【タイトル】

萩焼が生まれる大地
～景色から読み解く
萩焼誕生のヒミツ～

5月の予定

○ 笠山ジオの会 笠山噴火実験&火口見学ミニツアー 5月13日・27日（土） 時間：13:00～、14:00～、15:00～の1日3回。各回所要時間15分 内容：地元越ヶ浜の皆さんを中心に活動する「笠山ジオの会」が笠山山頂を舞台に笠山の成り立ちが分かる実験と火口見学ツアーを開催 料金：高校生以上200円、小中学生100円、乳幼児無料 受付：当日現地受付 定員：先着10名

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 5月20日（土）9:30～16:00 内容：紫福の里めぐり～火山の恵みとキリシタン伝説～ 集合場所：中央公園 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）

● 萩ジオパーク推進協議会定期総会 5月23日（火）14:00～15:00 場所：萩市役所大会議室 内容：令和4年度事業報告・会計報告・監査報告、令和5年度事業計画・予算他 主催：萩ジオパーク推進協議会